患者の皆様へ

2018年11月15日

血液内科

現在、血液内科では、「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の治療成績に関する後方視的研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、2013年1月1日より2018年5月31日までに悪性リンパ腫と診断された方の診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．　研究課題名「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の治療成績に関する後方視的研究」

２．研究の意義・目的

悪性リンパ腫は免疫を司る血液細胞の一種である成熟リンパ細胞のがんです。全身のリンパ節や臓器に発生すると，様々な臓器障害をきたします。

悪性リンパ腫のひとつであるびまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）は治療の開発が進んでおり，根治が得られる症例も増えてきています。しかし，一部のDLBCLは難治性のものもあり，その難治化の原因は不明です。この研究では，標準治療で根治の得られたDLBCLと難治性のDLBCLを比較することにより，治療の有効性を明らかにし、より有効な治療の選択や計画に役立つことが期待されます。

３．研究の方法

千葉県内の血液内科に調査票を送付し、患者さんの数と行った治療、奏効率、生存率、再発率、有害事象について調査を行います。

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

５．外部への試料・情報の提供

参加施設にて調査票を記入後、研究代表施設（千葉大学医学部附属病院血液内科）に郵送します。

６．研究組織

研究実施機関：	千葉大学医学部附属病院	堺田　惠美子（研究代表機関）
	千葉市立青葉病院	横田　朗
	成田赤十字病院	青墳　信之
	千葉県済生会習志野病院	趙　竜桓
	千葉県がんセンター	熊谷　匡也
	千葉ろうさい病院	原　暁
	船橋中央病院深	澤　元晴
	大網市立大網病院	杉田　泰雅
	国保旭中央病院	田中　宏明
	井上記念病院	松浦　康弘
	亀田総合病院	末永　孝生

７．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関　：地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院血液内科
本件のお問合せ先　：血液内科
医師　田中　宏明
０４７９（６３）８１１１（代）